

又方口

絶滅危惧種を

鳥取・兵庫

求めた

山本周

タナゴとは「平たい魚」を意味する関東地方

のよび名です。

日本にいるタナゴは、外来種を含めて18種類

います。本州のカネヒラ以外のタナゴが準絶滅

危小具種以上にしていされています。

ぼくとタナゴとの出会いは、夢前川です。

ドジョウを探している時、ペットボトルの仕かけに

アブラボテが2匹入っていたのが初めてです。

こんいん色がとてもきれいだったのと、こなに
近くにいて思っていたのでとてもおどろき
ました。

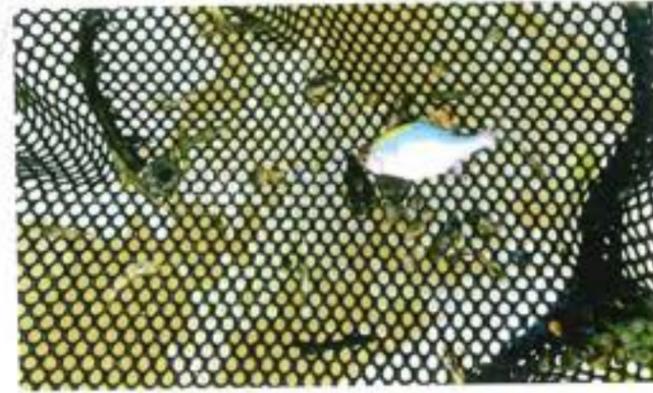
それから タナゴの本をたくさん読み タナゴのいそうな川を
見つけると、ガサガサしました。



ほくのお気に入りの本です



わなに入ったアブラボテ
水でうごけるとこいん色がうすれます



タナゴの生息地は.

草がおいしかった川や、用水路、池です。
 種類によっては流れの早い川や、おだやかな川
 流れがまったくないところにいます。

止水適応種	流水生種	
カネヒラ 仔モンジタナゴ タナゴ	セボシタビラ ヤリタナゴ シロヒレタビラ アカヒレタビラ	高流速適応種
イタヒンパラ セニタナゴ ミヤコタナゴ キタノアカヒレタビラ カゼトゲタナゴ ミナミアカヒレタビラ スゲンセニタナゴ タイリクバラタナゴ ニッポンバラタナゴ	アブラボテ	緩流速種

25,000分の1の地図の地図上で、タナゴが生息してい

ような川をチェックしたり、移動中の車の中から生息しているな
川や水路をいつも探していました。

たく山の川に入ったけれど、タナゴに出会えたのは数回
です。



タナゴ捕りに使う道具

基本道具

タモアミ
 バケツ
 観察用ケース
持ちかえり用
エアポンプ
 酸素タブレット



観察用ケース(ドッコ)

夏

シューケル
 ライフジャケット
ふえ (クマよけ)
 ウォータシューズ
 ぼうし
 ヒルよけスプレー
 ポイズンリムバー



秋 / 春

ふえ (クマよけ)
 グローブ
 ロング
 長ぐつ または
 ウェーダー
 はこメガネ
 ↳ 



冬

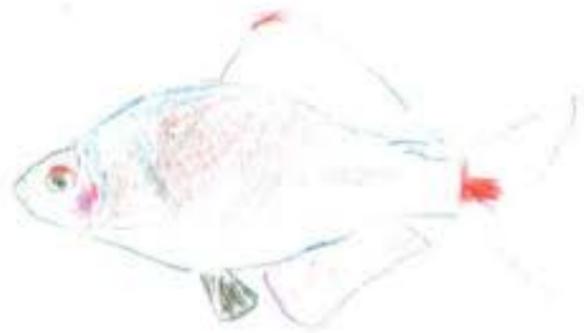
中わたグローブ
 ぼうかみぎ
 ウェーダー

わな
ペットボトルで
作る(中にえさを
入れろ)



ぼくがこの1年で見つけて

飼育しているタナゴ

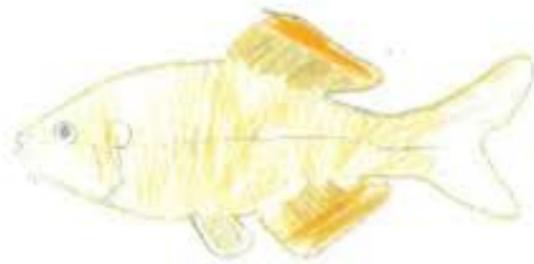


タリクバラタナゴ

体長 7cmほど
産卵 ドブガイなど 3月~8月
特ちょう こんいん色が
とてもきれい

ブラックリスト 部分的外来種

ワースト100



アブラボテ

6cmほど

マツカガイ イガイ ドブガイなど

3月~8月

体色が茶色でロウゲが

長い 気が強い

レッドリスト 準絶滅危惧種



シロヒレダビラ

8cmほど

イガイ カタガイなど 3月~8月

こんいん色のオスの

ヒレが白くてきれい!

レッドリスト 絶滅危惧種

IB類 これはとれてくれぬ

いつか(守)たい鳥取の川

河川生物調査ノート

調査した日 2024年5月3日		調査時間 (60分) 開始 2時30分 終了 3時30分		GPS (わかれば)	
調査者: 山本晃、山本周、山本わか、建 記入者: 山本周					
調査した場所 鳥取 県(都・道・府) 鳥取 市(町・村) の近く (写真No.)					
水系 (海にでるときの川の名前)			川・水路・ため池・その他 ()		
天気: 晴れ	川の幅: 1.5 m	深さ: 80 cm	植物: 陸・水の中・ない		
見つけた生き物		数	大きさ (cm~cm)	写真No.	
S アリクワバラアサギ		10	3~5cm		
? ミナミアケビ					
ニシシマドジョウ		20	4~6cm		
ナニシマドジョウ			6~7cm		
♡ ヒメアザヒ		30	3~4cm		
キンアザヒ		40	3~25cm		
感想: いつか(守)たい 鳥取の川は、アザヒドジョウが少なくて、 アザヒドジョウが少なくて、アザヒドジョウが少なくて、 アザヒドジョウが少なくて、アザヒドジョウが少なくて、 アザヒドジョウが少なくて、アザヒドジョウが少なくて、					

ずっと気になっていた加西の川

河川生物調査ノート

調査した日 2024年7月24日		調査時間 (150分) 開始 11時00分 終了 1時30分		GPS (わかれば)	
調査者: 山本周、山本建 記入者: 山本周					
調査した場所 兵庫 県(都・道・府) 加西 市(町・村) の近く (写真No.)					
水系 (海にでるときの川の名前)			川・水路・ため池・その他 ()		
天気: 晴れ	川の幅: 5 m	深さ: 70 cm	植物: 陸・水の中・ない		
見つけた生き物		数	大きさ (cm~cm)	写真No.	
A アリクワ		10	3~5cm		
オウゴン		4	5~7cm		
カマド		5	5~8cm		
X	アザヒドジョウ	15	7~6cm		
✓	アザヒドジョウ				
X	ヌーアザヒ	2	60~100cm		
カマド		30	50~60cm		
感想: 久しぶりのアザヒドジョウが、アザヒドジョウが、 アザヒドジョウが、アザヒドジョウが、アザヒドジョウが、 アザヒドジョウが、アザヒドジョウが、アザヒドジョウが、 アザヒドジョウが、アザヒドジョウが、アザヒドジョウが、					

絶滅危惧種
IA類

絶滅危惧種
IB類

絶滅危惧種
II類

準絶滅危惧種 外来種

特定外来生物

条件付特定外来
生物

「シロヒレタビラ」に出会えた武庫川

河川生物調査ノート

調査した日 2024年8月1日		調査時間 (210分) 開始 1時30分 終了 5時00分		GPS (わかれば)	
調査者: 山本周・山本わかかな				記入者:	
調査した場所 兵庫 県 (都・道・府) 姫路市 (町・村) の近く (写真No.)					
武庫川 水系 (海にでるときの川の名前)			川 水路・ため池・その他 ()		
天気: (曇)	川の幅: 3-10 m	深さ: 10-80 cm	植物: 陸・水中・ない		
見つけた生き物		数	大きさ (cm~ cm)	写真No.	
シロヒレタビラ		1	3cm-4cm		
アブラホテ		13	3-6cm		
タイクハラクサ		60	1-6cm		
ムギツク		6	3-8cm		
カマツ		10	1-3cm		
オイカフ		10	1-3cm		
オオマドジョウ		1	6cm		
カマツカ		1	13cm		
トブカイササバガイ		10	6cm-10cm		
感想					

ナイスな近場のポイント夢前川

河川生物調査ノート

調査した日 2024年8月8日		調査時間 (145分) 開始 3時45分 終了 6時00分		GPS (わかれば)	
調査者: 山本周・山本昊・山本わかかな				記入者: 山本周	
調査した場所 兵庫 県 (都・道・府) 姫路市 (町・村) の近く (写真No.)					
夢前川 水系 (海にでるときの川の名前)			川 水路・ため池・その他 ()		
天気: (曇)	川の幅: 20 m	深さ: 60 cm	植物: 陸・水中・ない		
見つけた生き物		数	大きさ (cm~ cm)	写真No.	
アブラホテ		3	4.5cm		
アブラホテ		20	5cm-7cm		
オニシ		1	5cm-7cm		
カマツ		100	1-15cm		
オイカフ		50	1cm-16cm		
カマツカ		10	3cm-6cm		
ムギツク		2	8cm		
オオクサバ		2	20-30cm		
感想 ごみから取り除いたけど オオクサバ がいてよかったと思った					

タナゴの産卵

タナゴのとくちょうは**二まい貝に産卵**する

ことです!!

産卵の時期はカネヒラ・ゼニタナゴは**秋**

多くのタナゴは**4月~8月**にかけて種に合った産卵母貝

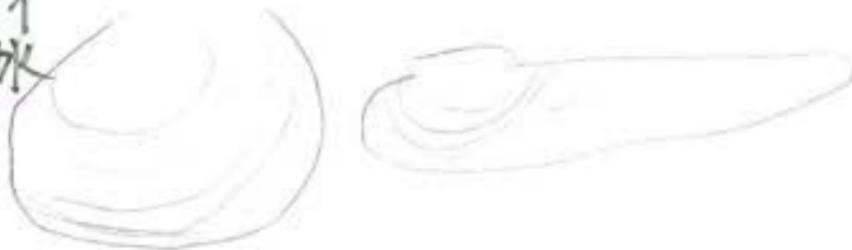
があります たとえば、タイリクバラタナゴは**ドブ貝・イシ貝**などに産みつけます。

下のドブ貝は、むご川水けいで見つけた

貝です。水そうに入れてみてみるとさんらんかんの出たメスが体当たりお様にどぶ貝のすきまにうみつけましたオスがその後せろをかいるのですが、それはかくにんできませんでした。



ドブガイ
田んぼの用水
路やため
池にいる

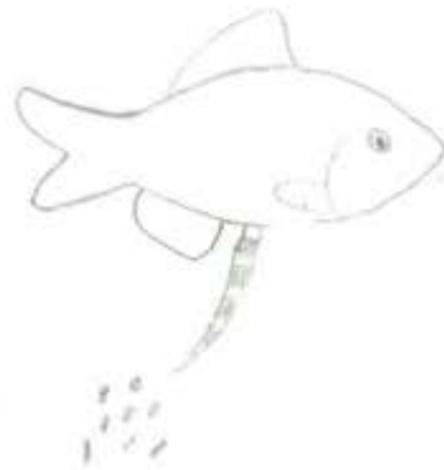
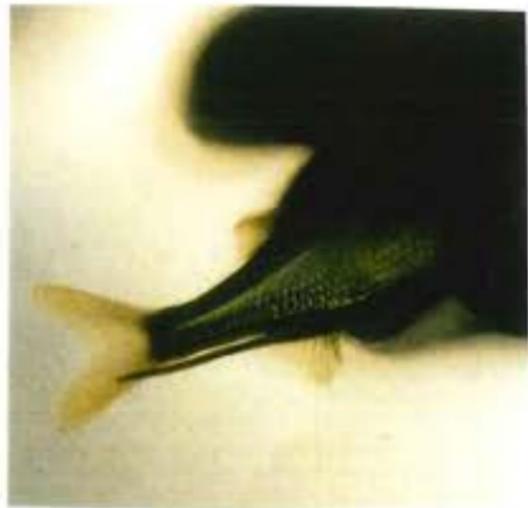


トシカリササリハカイ
ドブ川や用水路
小川などにいる

タナゴの人工はんしょくにおお戦

ドブガイが見つからなかった時に、本にのつたのを見てタナゴの人工はんしょくをしてみました。

①産卵管が十分に伸びていて白っぽくなっているヌのお腹を優しく押し卵をしばり出す



②「追い星」という口の周りの白い点が出ていて
しっかりとこんいん色が出ている オスのおなか
をやさしくおして精子をとりだし卵にかける。



③卵の容器をきれいな水にかえる 貝の中にいる
と思わせるために光をさえぎると温度変化を
おさえるために 発泡スチロールの箱に容器
をいれる。

2日後、かくにんすると 卵が、ふ化していた!!!
きいろくてまぶくて尾がある おたまじゃくしの様な形で
まだ目がなくて あまり重かかないが容器をうごかす
と コロコロころがるように動いていた。



せい長を楽しみにしていたが 4日目ののどくと
しんでしまっていた。 とても残ねんでした。



タナゴは 貝の中で ち魚まで育て出てくるそうです。
貝の中に産みつけられた卵が 18日後 ち魚になって
でてくるのが楽しみ です。

タナゴを飼育して感じた事

ドブガイを水そうに入れて1時間ぐらいしたら、アブラボテのオスがなわばりにしてそこにタイリクバラタナゴが産卵けたのを見て色々な種類が産むと武庫川水系にいたタイリクバラタナゴとアブラボテの交雑種が産れて日本のタナゴが減っていくんだなと思った。

どうにかして

守っていきたい